

製品名: NDUFS6 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14518**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	NDUFS6
別名	NDUFS6; NADH dehydrogenase [ubiquinone] iron-sulfur protein 6; mitochondrial; Complex I-13kD-A; CI-13kD-A; NADH-ubiquinone oxidoreductase 13 kDa-A subunit
遺伝子 ID	4726.0
SwissProt ID	O75380
免疫原	抗血清はヒト NDUFS6 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 75-124

背景

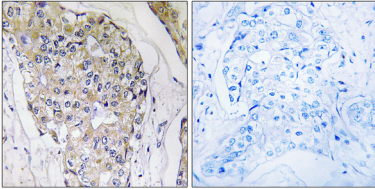
この遺伝子は、ミトコンドリアの電子伝達系における最初の酵素複合体である NADH:ユビキノン酸化還元酵素（複合体 I）のサブユ

ニットをコードしています。この複合体は、NADHから呼吸鎖への電子伝達に機能します。この遺伝子によってコードされるサブユニットは、鉄硫黄タンパク質分画に含まれる7つのサブユニットの1つです。この遺伝子の変異は、新生児期疾患や成人発症型神経変性疾患など、様々な臨床疾患を引き起こすミトコンドリア複合体I欠損症を引き起こします。[RefSeq提供、2009年10月]機能: ミトコンドリア膜呼吸鎖NADH脱水素酵素(複合体I)の補助サブユニットで、触媒作用には関与していないと考えられています。複合体Iは、NADHから呼吸鎖への電子伝達に機能します。この酵素の直接の電子受容体はユビキノンであると考えられています。、類似性: 複合体I NDUFS6サブユニットファミリーに属します。、サブユニット: 哺乳類の複合体Iは45の異なるサブユニットで構成されています。これは酵素の鉄硫黄(IP)フラグメントの構成要素です。、

研究分野

酸化的リン酸化、アルツハイマー病、パーキンソン病、ハンチントン病、

画像データ



NDUFS6抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。